EPX出力パタン解説

本資料は、EPX Version2の規格を補足する目的で、 EPX_WGで議論して作成された資料です。 EPXでの放電加工を表現する際に、加工の内容によって どのような出力パタンとなるかを判断する方法について 記載しています。

2012.12.28 EPX WG

1. EPX規格の基本構造

<idma epx>

<header>

<major_version>2</major_version>

<minor version>0</minor version>

<title>MODEL3</title>

<sender>CamMagic</sender>

<machine_name ></machine_name>

<date>2011/06/09</date>

<time>9:24:30</time>

<author_name></author_name>

<unit>0</unit>

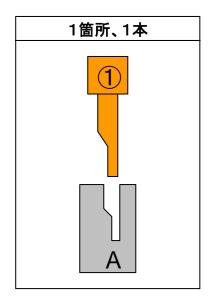
<comment />

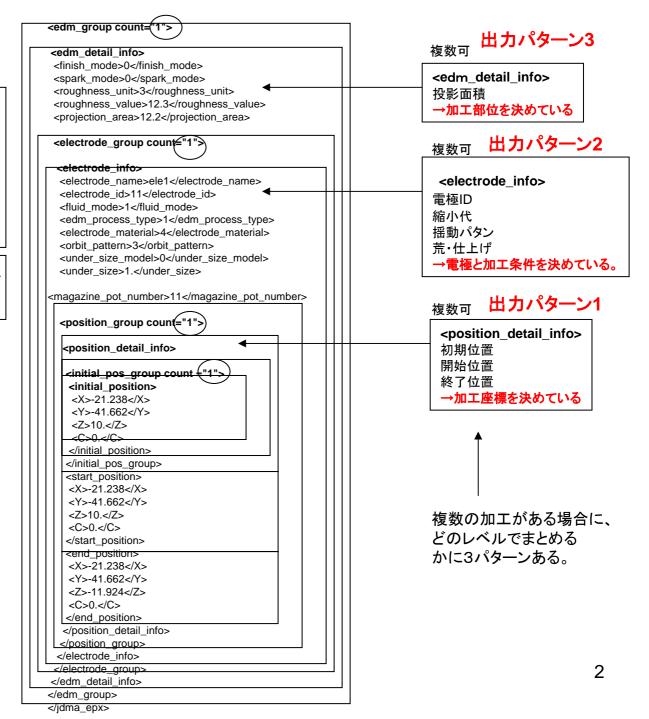
</header>

<work_piece_information>

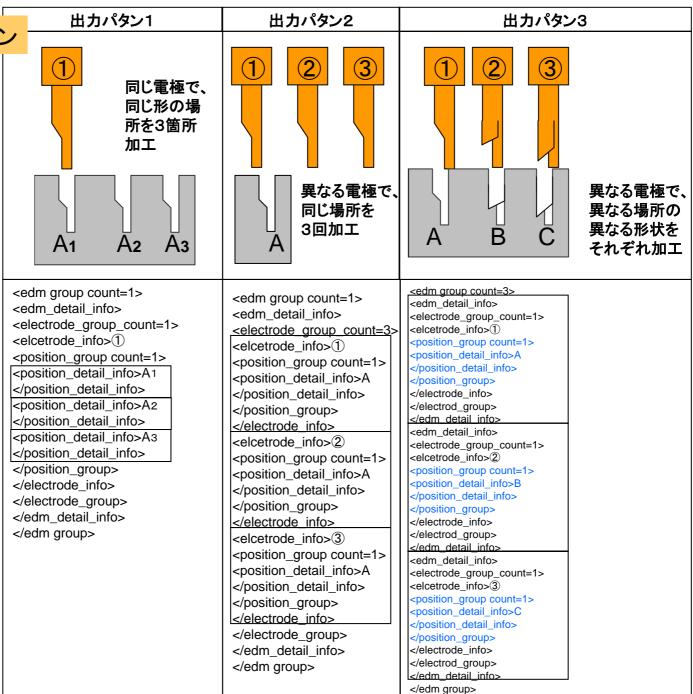
<work_piece_name>WORKNAME</work_piece_name>
<work_piece_material>1</work_piece_material>

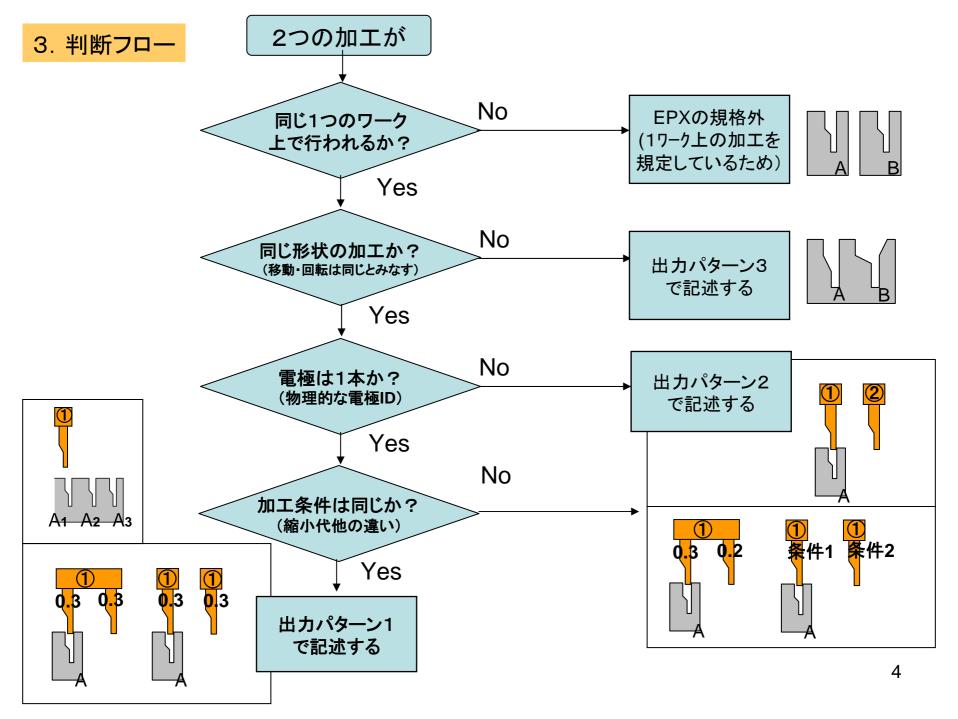
</work piece information>





2. 3つのパターン





4.加工パタン分類図 2012/12/28 EPX_WG

出力パターン1の定義:面粗さ、投影面積、加工深さ等が同一で、同減寸 出力パターン2の定義:面粗さ、投影面積、加工深さ等が同一で、荒・中・仕が切り替わるだけ(異減寸可) 出力パターン3の定義:面粗さ、投影面積、加工深さ等も異なる

凡例	
	よくある放電パターン
	まれにある放電パターン
	■ありえない放電パターン
	追加したパターン

	加工回数	ケが一同	I	加工同	数が複数	
	通	常	同一加工部位への加工		複数加工部位への加工	
	回転移動なし 出カパタン1	回転移動有り 出力パタン1	回転移動なし 出力パタン1	回転移動有り 出力パタン1	回転移動なし	回転移動有り
単電極				Y _A		
複数電極(同減寸量)			田カパタン2 (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**)	出力パタン2 ii		
複数電極(異滅寸量)			出力パタン2 (U) 2 (3) (L) (L) (L) (L) (L) (L) (L) (L) (L) (L)	出力パタン2		
複数電極、異形状加工					出力パタン3 (1) (2) (3) A B C	出力パタン3 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
シフト電極(同減寸量シフト電極)			田カパタン1	田カパタン1		
シフト電極(異滅寸量シフト電極)			田カパタン2 ① (1) (A)	田カパタン2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
とんぼ電極(回転電極)(同原寸量				田カパタン1		
とんぼ電極(回転電極)(異滅寸量				出力パタン2 (1)		
マルチ電極(同滅寸量)	出力パタン1	出力パタン1	出力パタン1	田カパタン1 (I)		出力パタン3
マルチ電極(異滅寸量)			出力パタン2	出力パタン2	出力パタン3	出力パタン3 (f)